

### 別紙4 JKA補助事業 2024年度 事前計画/自己評価書(4/5)

#### 5. 補助事業の自己評価

作成日	2025	年	1	月	9	日	作成者	佐々木 洋
-----	------	---	---	---	---	---	-----	-------

##### (a) 個別項目評価

<b>●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。</b>					
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	車両の長納期を予想していたが、代替車種の確保ができたため事業年度内に移送車4(特別装備なし)車両を導入することができた。納車翌営業日となる12月から放課後等デイサービス事業の送迎に週5日(事業所~学校を概ね2~3往復)使用している。今後は外出レクリエーションにも使用していく予定です。			採点	
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
実施計画・体制	JKAご担当者様の適時適切なご助言と販売店の協力により、当初3月納車の予想が11月に前倒しとなり、冬季の送迎に使用できるよう早期に導入できた。導入後はこの車両を主の車両として使用し円滑な運行計画となるよう、送迎担当職員と申し合わせていたため、毎日運行している。			5	
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 2024/11/29	[達成状況] 100%	[具体的内容] 現所有車両の故障の頻発と冬季送迎時の安全性を考慮し、できるだけ早期に車両整備したいと考え車両販売店と連絡を密に取りながら予定より早期に車両導入に至った。納車の翌日から送迎に活用しています。	4
	事業の成果・波及	[達成値] 平均:7人/日	[達成状況] 70%	[具体的内容] 目標値は1日当り、10-15人の送迎を予定であったが、達成値は下回った。12月以降、風邪やインフルエンザといった感染症の流行期に差し掛かり、欠席する子が増えたことと年末年始の休所が重なったことが要因と考えます。冬季はこうした状況が続くと見込まれるが、春以降は使用回数が増える見込みです。また、現在老朽化したミニバン車両も併用しているため、その車両が廃車した場合はさらに増えることも予想されます。	3
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] (1) 1回 (2) 1回 (3) 650部配布 (4) 40部配布 (5) 1回	[達成状況] (1) 100% (2) 80% (3) 100% (4) 100% (5) 100%	[具体的内容] (1) ホームページに掲載中 (2) 事業所Instagramに掲載中・・・フォロワー数が伸び悩んでいるため達成状況は80%とした (3) 機関誌「やすら樹」2025年1月号に掲載 (4) 事業所おたより「ぼっぼ通信」2024年12月号に掲載 (5) ぼっぼ舎玄関前大型掲示板にポスター掲示	4
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] (1) 1回 (2) 1回 (3) 650部配布 (4) 40部配布 (5) 1回	[達成状況] 100%	[具体的内容] 上記(1)~(5)の情報発信を行う中で、JKA補助事業による車両導入である旨を明示した。	4
(5) 自己評価の体制	2025年1月9日に第1回自己評価会を開催し評価を行った。評価結果について法人ホームページに公開した。			3	

##### (b) 総合評価

総合評価点	4
-------	---

<b>●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。</b>	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	計画より早期に車両導入できたことにより、冬季の送迎も安全、快適に実施できている。今後は外出レクリエーションなどにより子どもたちの心身の育成に努め、合わせて補助事業のPRと放課後等デイサービス事業の認知度を高めていきたい。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	・事業所初となる新車の導入であり、車内も広く乗り心地も良いため、子どもたちは喜んで乗車しています。現在所有する車両5台はいずれも中古車で購入し、初度登録から平均15年経過した車両です。今回JKA補助事業により導入した車両を主力車両として多目的に安全に長く使っていきたい。 ・補助事業全体を管理する責任者は事業所に常駐していないため、実際の利用状況や納車までの手続きなど綿密な打合せを行ってきた。今後も引き続き事業所と連携を図り、広報活動と実態調査を行い自己評価していきます。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	当事業所は、小規模保育園と併設になっており、近隣には児童クラブが利用する施設もあり、周辺一帯が子どもの声あふれるエリアです。住宅団地に立地していることもあり、地域住民や利用する子の保護者、他事業所職員など多くの方が来訪します。車両も施設前に駐車しているので、止まっているだけでPRとなっています。施設玄関前の掲示板に補助事業のポスターを掲示し、来所者の目にとります。また11月からは事業所Instagramを開設し情報発信を行っています。

### 別紙 JKA補助事業 2024年度 事前計画／自己評価書(5／5)

#### (c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「\*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「\*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因			(1) 経費	<p>(2)JKA補助事業部ご担当者の適切なお助言により、スムーズに事務手続きを行うことができた。また、販売店から在庫に関する情報を逐次提供していただいたため、予定より早期の納車につながったと考えています。</p> <p>(5)2023年4月から車内置き去り防止安全装置の設置が義務化されていたが、事務担当者の認識不足により本車両契約・発注後に安全装置のみ追加オプションとして発注した。</p>	(5)事業所の設置運営に関する法令に対応するため、事務担当者と事業所管理者により書類の共同確認を実施する。
	*		(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
			(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
		*	(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変更 (主に建築)		
			(7) その他		
外部要因			(8) 受益者の規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援		
			(10) 関連法制度の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術開発		
			(14) 競合するサー ビス・事業の出現		
			(15) その他		
		(16) 特になし			